

フーバーブレイン 1Q決算説明資料

(2027年3月期)

<https://www.fuva-brain.co.jp/>

2026年8月14日



株式会社フーバーブレイン

1

**2027年3月期1Q決算概要、並びにトピックス
2027年3月期通期業績予想**

2

成長戦略及び中期5カ年経営計画

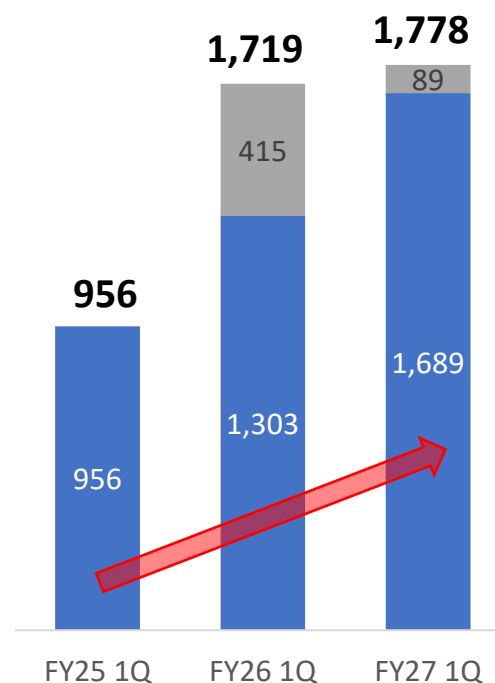
3

APPENDIX：当社事業概要並びに業績推移

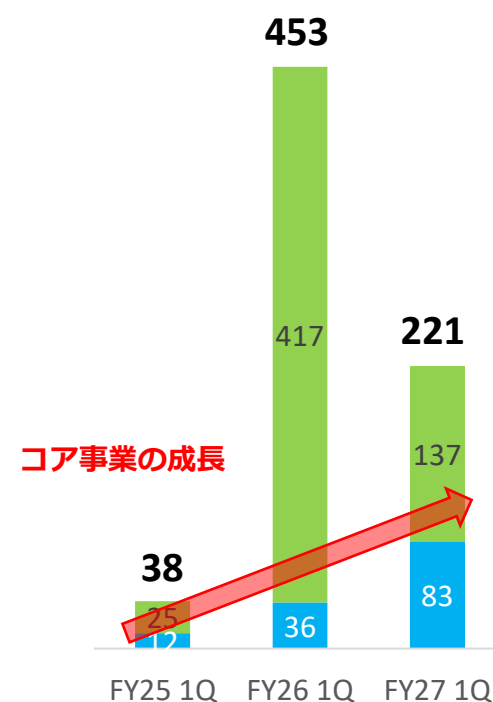
2027年3月期 1Q決算総括：コア事業の増収増益基調は継続

- コア事業のITツール、ITサービス事業は増収・増益で順調に拡大。
- 前期に子会社化したYouth PlanetおよびProofXも連結業績に寄与
- 前期は、子会社フーバー・インベストメントの有価証券売却益385百万円を1Qに計上、当期は84百万円の売却益を計上（通期売却益計画は340百万円）

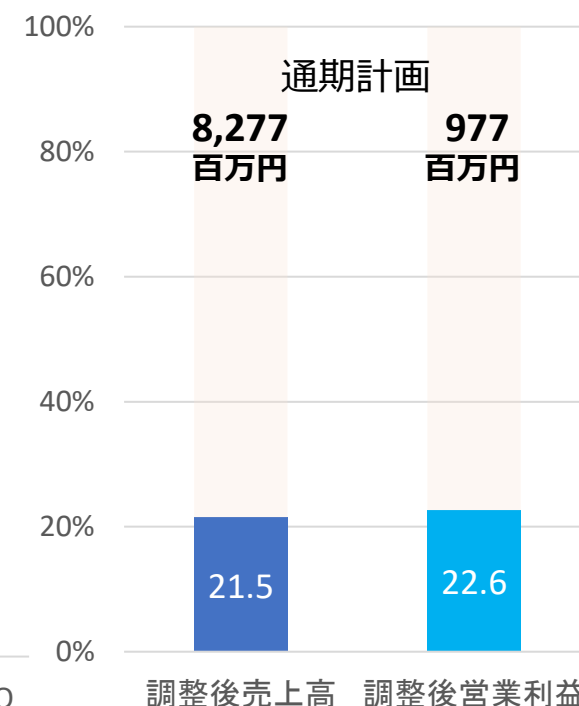
調整後売上高推移



調整後営業利益推移



進捗率%



調整後売上高

1,778百万円
(前期比+3.5%)

調整後営業利益

221百万円
(前期比▲51.3%)

当期純利益

69百万円
(前期比▲71.5%)

1Q決算総括（計画通りに順調に推移）

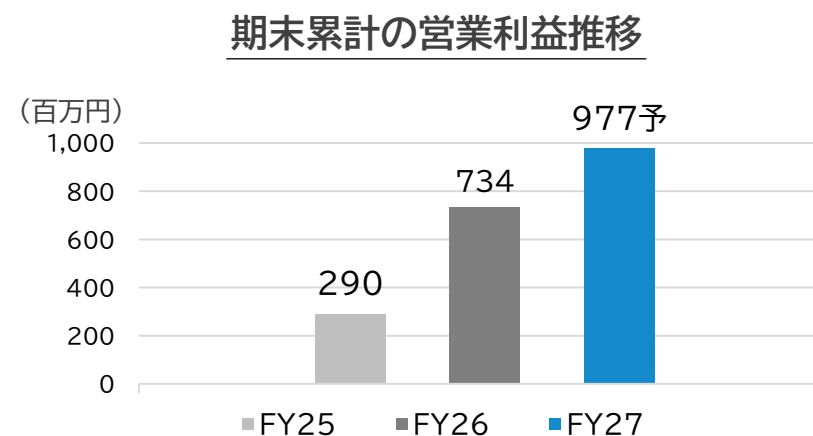
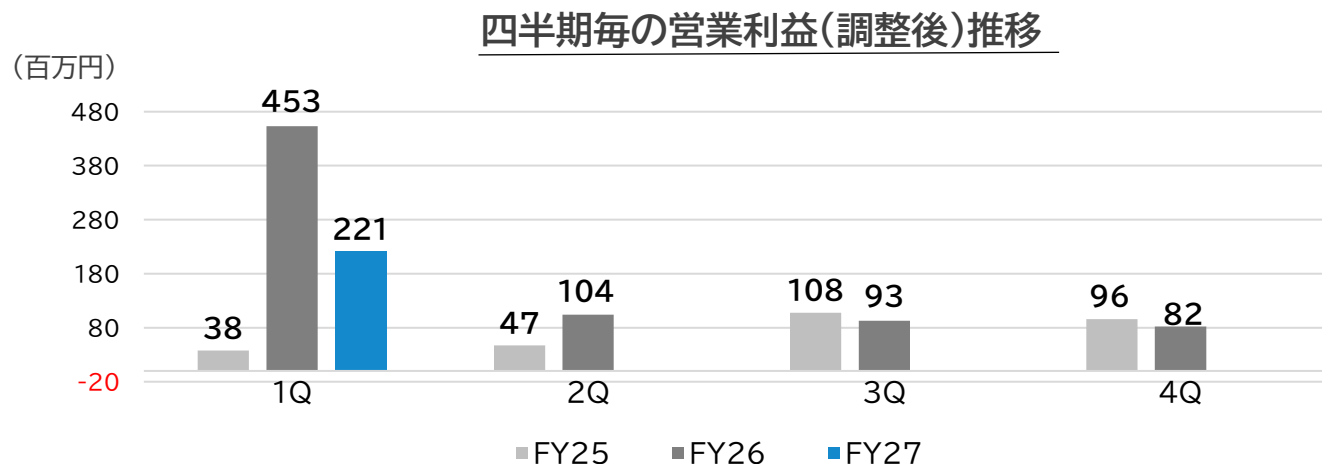
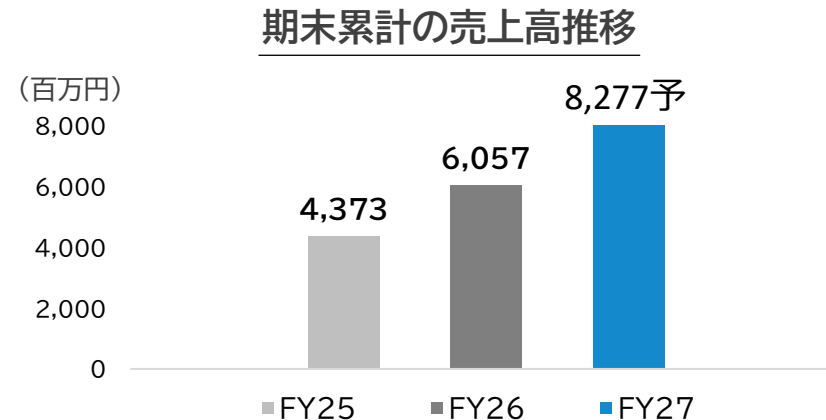
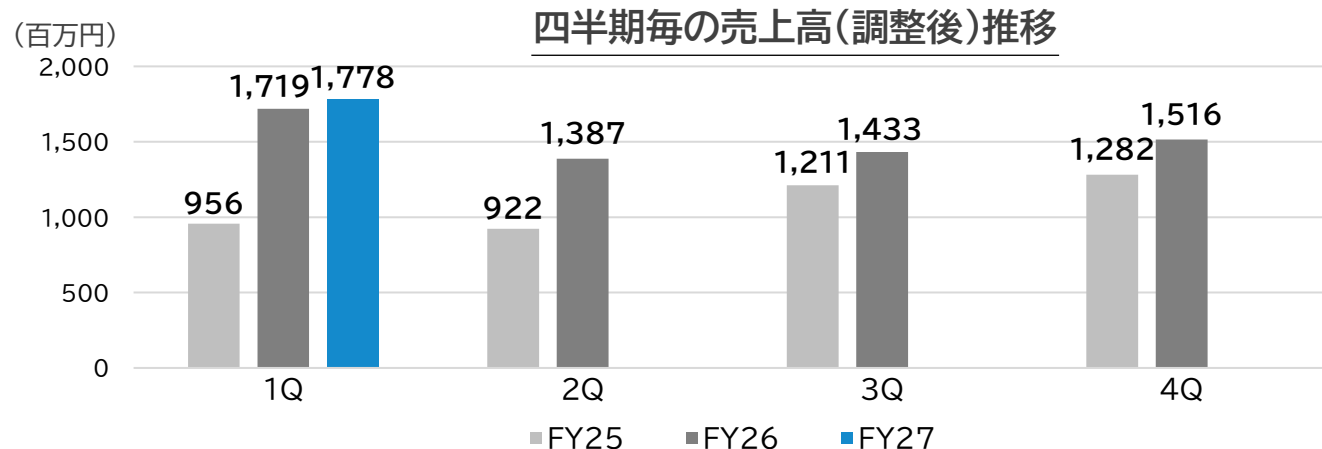
- コア事業のITツール事業、ITサービス事業のコア事業の順調な拡大、投資事業のデジタルグリッドの株式一部売却は1Q期間で89百万円。

（百万円）	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	利益率	前期比率	通期予想達成率
売上高 （調整後売上高）	956	1,719	1,778	—	+3.5%	21.5%
調整後営業利益	38	453	221	12.4%	▲51.3%	22.6%
経常利益 （調整後経常利益）	34	457	220	12.4%	▲51.7%	23.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3	245	69	3.9%	▲71.5%	21.2%

* 投資事業は子会社のフーバー・インベストメントの有価証券売却益となり、連結会計上は特別損益計上となるが事業実態面から調整後売上高、調整後利益に計上

2027年3月期 四半期推移

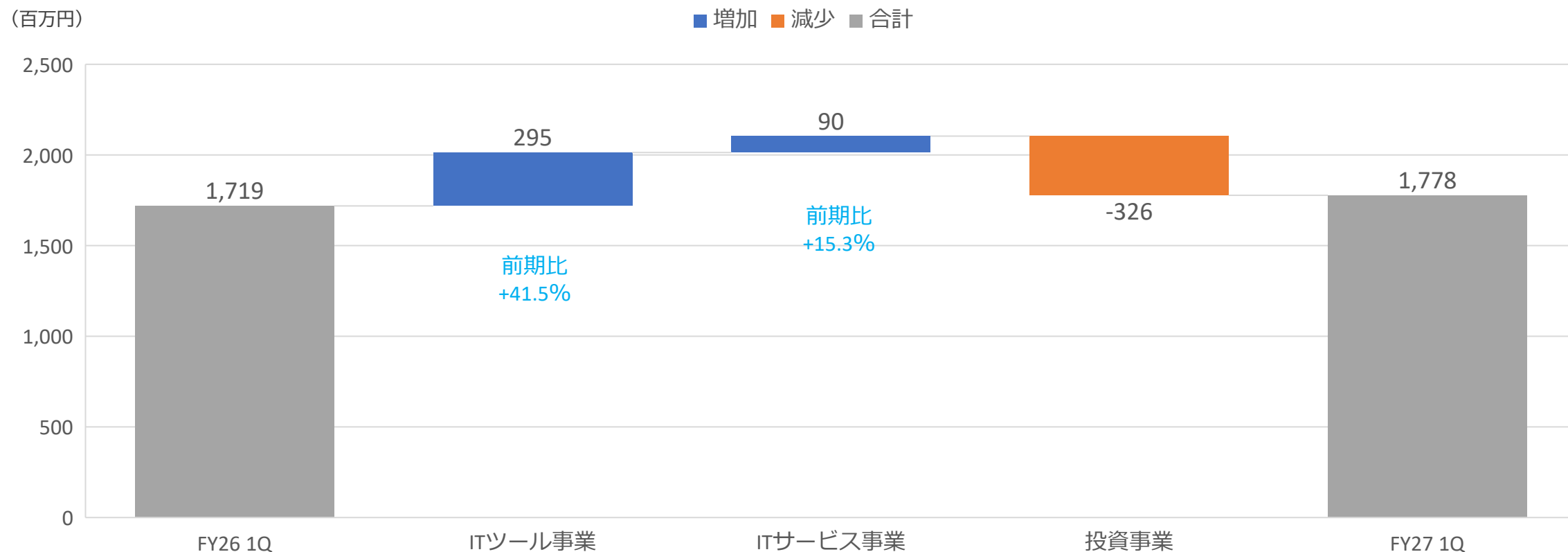
- 前期1Qに投資有価証券の売却益385百万円を計上、今期売却益は84百万円



2027年3月期1Q 調整後売上高 増減要因

- 調整後売上高は、コア事業のITツール事業、ITサービス事業ともに二桁成長,
- 投資事業は前期投資先D社のIPOによる売り出しを1Qに実施した反動減によるもの▲3.2億円

調整後売上高増減（前期比+59百万円）

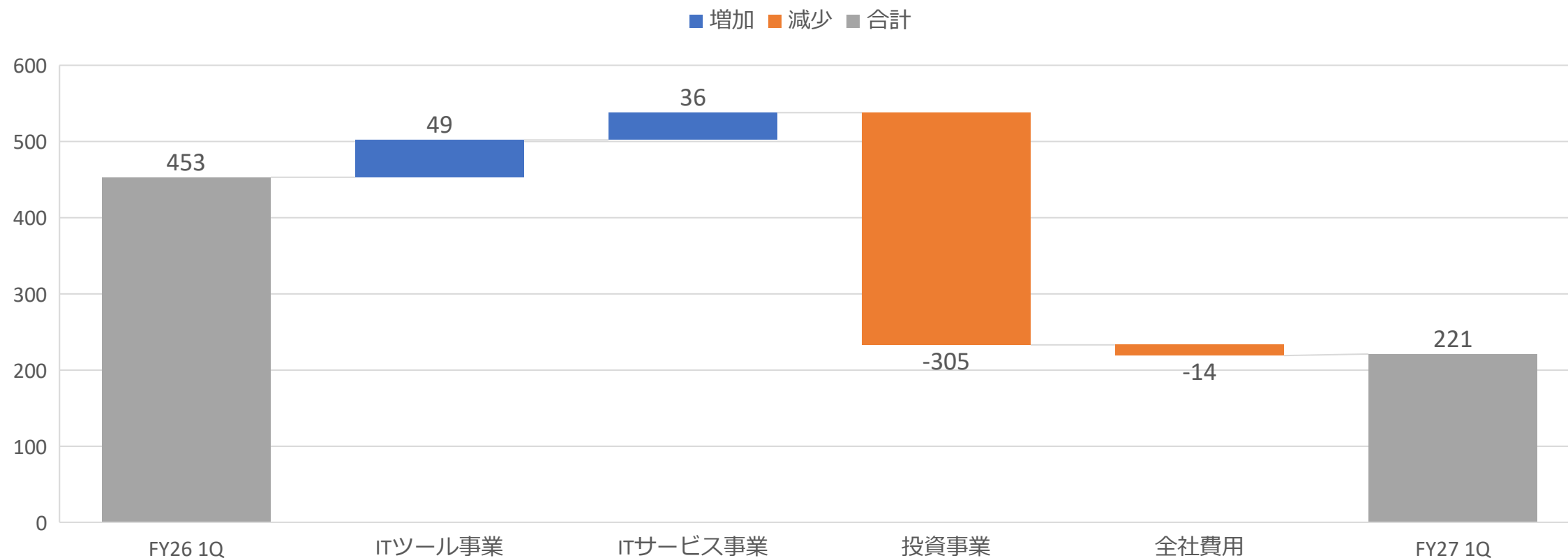


2027年3月期1Q 調整後営業利益 増減要因

- 調整後営業利益は、本体のCATOを中心としたセキュリティ領域の拡販に加え、子会社ProofXの貢献もありITツール事業は好調に推移、ITサービス事業も人材育成による単価上昇により堅調に推移。

調整後営業利益増減（前年同期比▲232百万円）

（百万円）



2027年3月期1Q 事業セグメント・取扱い製品別

- ITツール事業はセグメント全体として、前期比+41%
- 内訳は、成長事業の「セキュリティ & ネットワークaaS製品」のCatoが前期比約+44%と大幅伸長、働き方改革製品（SaaS）は約+9%の増収、基盤事業のセキュリティ製品も+41%増を実現
- ITサービス事業は、前期末にM&Aにて子会社化したYouth PlanetとProofXが加わり、前期比で15%の伸びとなった。

	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減額	増減率%
ITツール事業	711	1,006	295	41.5%
セキュリティ製品	278	393	115	41.3%
セキュリティ & ネットワークaaS製品	402	579	176	44.0%
働き方改革製品（SaaS型）	30	33	3	9.9%
ITサービス事業	591	682	90	15.3%
投資事業	415	89	▲326	-
調整後売上高合計	1,719	1,778	59	3.5%

2027年3月期1Q 貸借対照表

(百万円)	2026年3月期	2027年3月期 1Q	増減額
流動資産	4,160	4,568	+407
現預金	1,910	1,914	+3
受取手形 売掛金	529	568	+38
前払費用	1,455	1,785	+330
その他	264	299	+34
固定資産	3,712	3,777	+64
有形固定資産	151	150	△1
無形固定資産	869	943	+74
投資その他の資産	2,691	2,683	△7
総資産	7,872	8,345	+472
流動負債	3,090	3,011	△78
買掛金	187	215	+27
短期借入金等	700	328	△371
前受金	1,649	2,000	+350
その他	552	466	△85
固定負債	2,465	2,912	+447
長期借入金	226	317	+91
長期前受金	1,806	2,153	+347
その他	432	441	+8
純資産	2,317	2,421	+104
株主資本合計	1,500	1,508	+8
その他包括利益累計等	817	913	+96
負債純資産合計	7,872	8,345	+472
自己資本比率	27.0%	25.5%	△1.5pt

● 資産の前払費用 & 長期前払費用、負債の前受金 & 長期前受金は、長期契約のセキュリティ & ネットワークaaS製品（Cato）の受注が堅調に積みあがっていることを示している。

● 投資事業における投資先（D社）のIPOによる保有株式の時価評価による有価証券評価差額金、短期借入金、繰延税金負債の計上により総資産並びに負債純資産が拡大。

1Qトピックス：自社プロダクトが2期連続2部門で「Leader」受賞



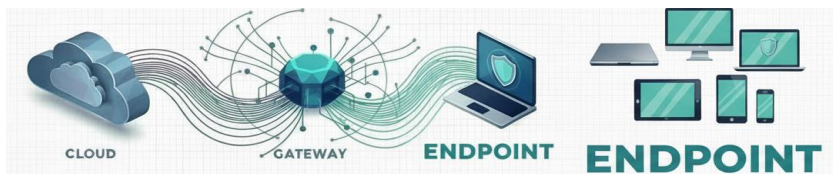
●当社が提供する、PCログ管理ツール『Eye“247” Work Smart Cloud（アイ 247 ワークスマートクラウド）』が、アイティクラウド株式会社主催の「ITreview Grid Award 2026 Summer」において、「ログ管理システム部門」および「業務可視化ツール部門」の2部門で「**Leader**」を2期連続受賞いたしました。

●子会社ProofXとともに、『Eye“247” Work Smart Cloud』に蓄積したログデータ活用した、AX・FDEコンサルの提供の可能性を模索しております。



1Qトピックス：ITツール事業の自社開発エンドポイント製品

当期1Qよりスタート



AI エージェント化を目指し、開発を加速。
グループ化したProofX（夏目CAIO）の有する
AIノウハウを活用し、
戦略的投資、資本業務提携を加速
（中期経営計画期間中、戦略投資・研究開発
総額 **5億円**規模を想定）を図る

2025年

エンドポイントセキュリティ



外部脅威対策



内部情報漏洩対策
働き方改革



2026-2029年

AI分析機能付加

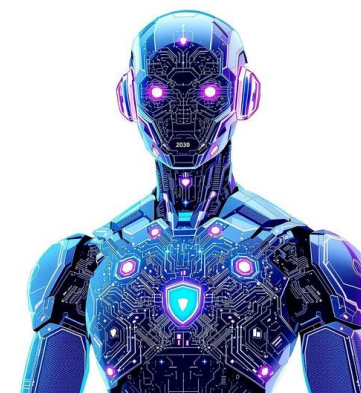
検知・可視化・分析の高度化



2030年

AIエージェント化

自律的な防御・最適化・意思決定



1Qトピックス： 「AI Security」をオープン



<https://www.ai-sec.jp/>

- 本サイトでは、AI セキュリティメディア「VIGILAIN（ヴィジレイン）」による最新トレンド等の情報発信と、AI セキュリティソリューション『Cato AI Security』のご紹介を軸に、企業が安全かつ効率的にAI活用によるビジネス価値の最大化を実現する環境づくりをトータルでサポートしてまいります。
- 本サイトでは、AI セキュリティに関する基礎知識から、最先端の脅威トレンド、そして企業の AI 活用における課題を包括的に解決するためのソリューションまで、網羅的な情報発信を行います。『Cato AI Security』は、Cato Networks 社が提供する、企業の AI導入プロセスを保護し、包括的なガバナンスを提供するクラウドネイティブなセキュリティソリューションです。当社はCato Networks社のディストリビューター（一次代理店）として、販売代理店への営業支援や技術支援を行っております。

2027年3月期 業績予想

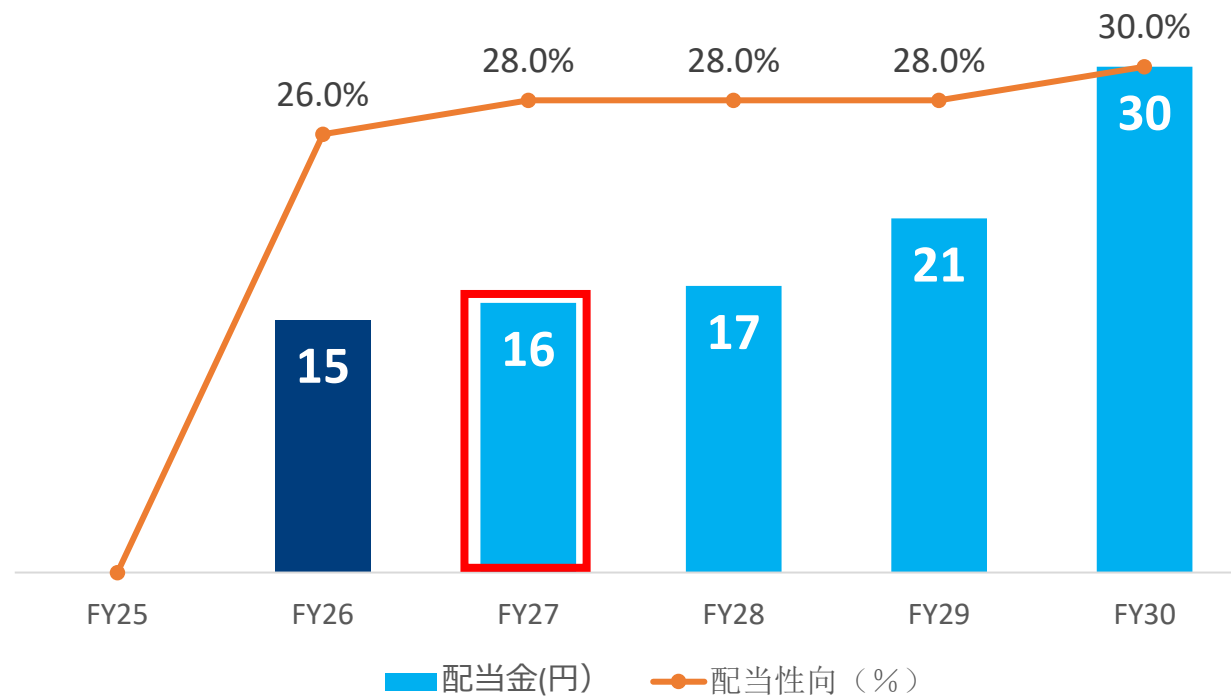
(百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 中期経営計画	2027年3月期 業績予想	利益率	前期比率
調整後売上高	6,057	7,700	8,277	—	+36.6%
調整後営業利益	735	830	977	11.8%	+32.9%
調整後経常利益	736	-	948	11.5%	+28.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	308	-	330	4.0%	+7.0%

- 2027年3月期以降でM&Aによる年2社の子会社化の計画について、2026年3月期に2社、2026年5月に1社の子会社化を行い、前倒して計画が進捗中
- 2027年3月期の業績予想は新たな3社の業績貢献を考慮し、中期経営計画数値を上回る想定

株主還元：前期より配当開始、中期的に配当性向30%目指す

- 前期（FY26）より**初配15円配当実施**（配当性向26%）、中期的に**累進配当を実施予定**
当期は16円配当を実施予定
- 株主優待のQUOカードも継続（100株単位以上に1,000円のQUOカード）

1株当たり配当金（円）と配当性向（%）



1

2027年3月期1Q決算概要、並びにトピックス
2027年3月期通期業績予想

2

成長戦略及び中期5カ年経営計画

3

APPENDIX: 当社事業概要並びに業績推移

フーバーブレイン 成長戦略&中期経営計画



Fuva Brain

株式会社フーバーブレイン

経営者メッセージ



代表取締役社長 奥水 英行



AI AGENT

GUARDIAN

今、自律型AIの急速な台頭という大きな波が、社会のあり方を根底から変えようとしています。AIが自ら判断し行動する「**AIエージェント時代**」を迎え、その安全な活用には新たなガバナンス構築が急務です。

私たちフーバーブレインは、この変革をリードするため、AIの信頼と安全を守る「**日本発のAIガーディアン**」となることを目指します。

AIの進化というアクセルが強力であればあるほど、安全を担保するガバナンスというブレーキが強く求められます。

この「**AIの発展と表裏一体の巨大なガバナンス需要**」こそが当社の新たな成長エンジンであり、セキュリティ技術を核としたAIガバナンス市場を切り拓き、持続的な成長を牽引してまいります。

サイバーセキュリティ：国家戦略としての成長投資分野

事業環境：国家戦略との完全一致による成長機会

1 政府による「危機管理投資」の強力な推進

高市総理大臣が主導する「日本成長戦略本部」は、「強い経済」実現のキードライバーとして「危機管理投資」を推進
リスクや社会課題に対し先手を打つ、官民連携の「国家戦略」として位置づけ

2 「サイバーセキュリティ」を最重要分野として指定

同戦略において「デジタル・サイバーセキュリティ」は**最重要分野**の一つであり、担当大臣も指名
政府は、規制改革や大規模な調達を通じ、当該分野における新たな需要創出・拡大を本格化

3 当社への影響：国家戦略と事業領域の完全一致

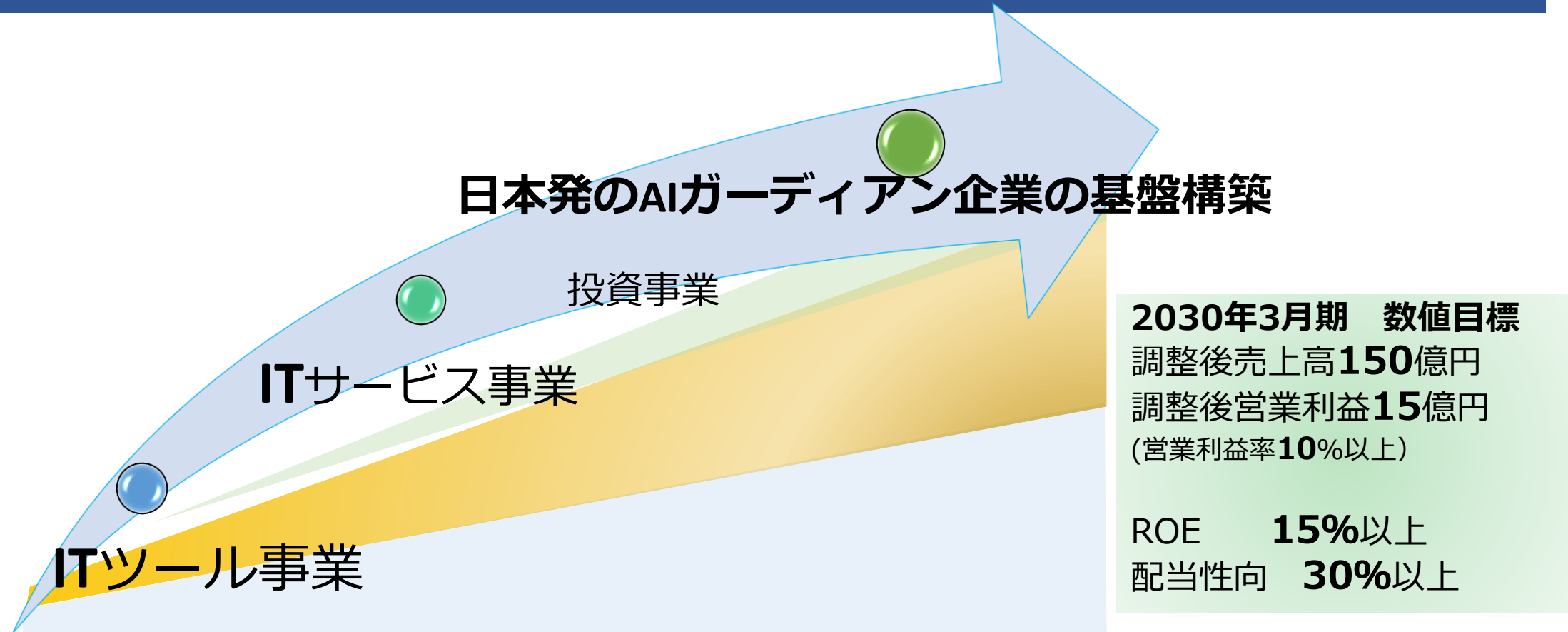
当社ビジョン「日本発のAIガーディアン」の中核である「サイバーセキュリティ技術」及び「AIの信頼性を担保するガバナンス」が、国家戦略と完全に一致
国家が求める「安全保障」と当社が提供する「技術」が噛み合い、**歴史的な好機**が到来

事業の非連続的な成長を実現する**最大の追い風**に



ビジョン：「日本発のAIガーディアン」を目指す

自律型AIの台頭に伴い、信頼と安全を担保する巨大なAIガバナンス需要が、当社の新たな成長エンジンに。国家戦略の追い風の中、「日本発のAIガーディアン」として、セキュリティ技術を核に市場を開拓し、企業価値拡大を目指します。



夏目亮太のCAIO就任



CAIO(チーフ・AI・オフィサー)
夏目 亮太

■ 世界最高峰の国際会議での評価

AI 分野で世界最高峰の国際会議（CVPR 2019）において、世界中から集まる 5,000 を超える論文の中から「Best Paper Award Finalist」に選出。

■ グローバル・メガテック企業も注目する研究実績と、当社グループのAI研究プレゼンス向上

30 歳という若さでありながら、発表したAI関連論文の総引用数は 2,343 件に達し、MetaやGoogleの現役AI 研究者にも数多く引用。AI（コンピュータビジョン領域）における企業在籍の日本人研究者ランキングにおいて、世界 32 位相当に名を連ねるトップクラスの実績

■ 当社製品のAIEージェント化

「Eye“247”」シリーズに自律思考型AIEージェントを統合し、“自律的に防御・最適化を実行するAIガーディアン製品”へと進化。

中期業績計画

2030年に向けた成長目標

着実な成長を継続し
収益性の向上を図る

2030年3月期 経営目標

150 億円

調整後売上高

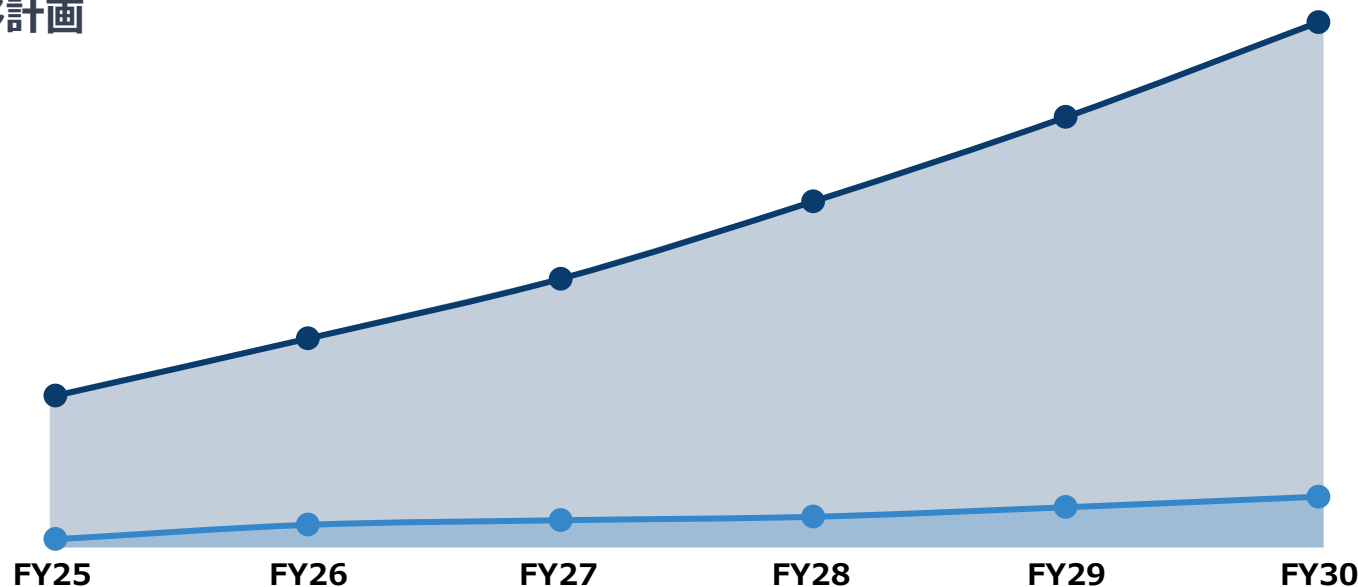
CAGR 27%

15 億円

調整後営業利益
(利益率10%)

CAGR 38%

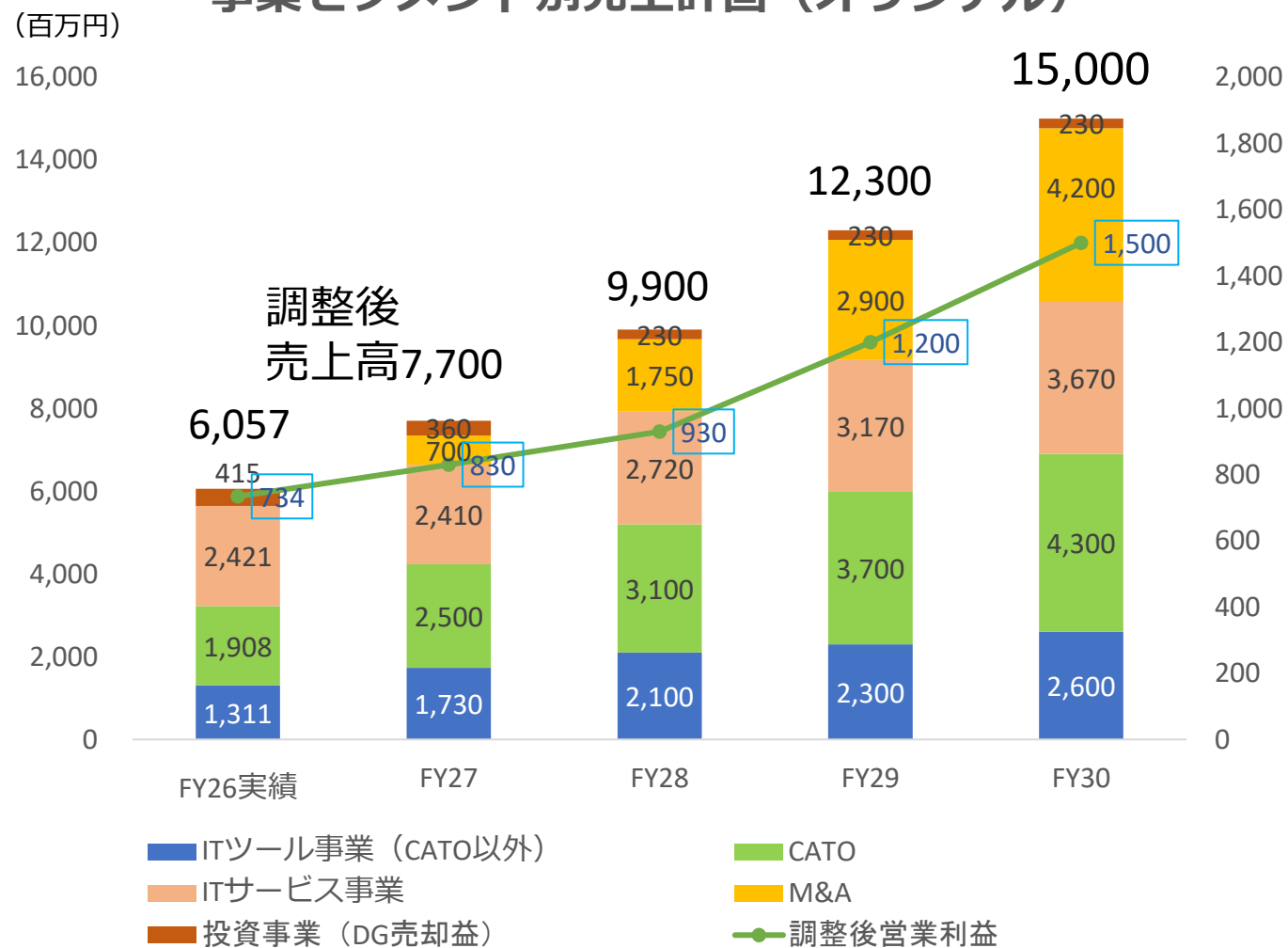
業績推移計画



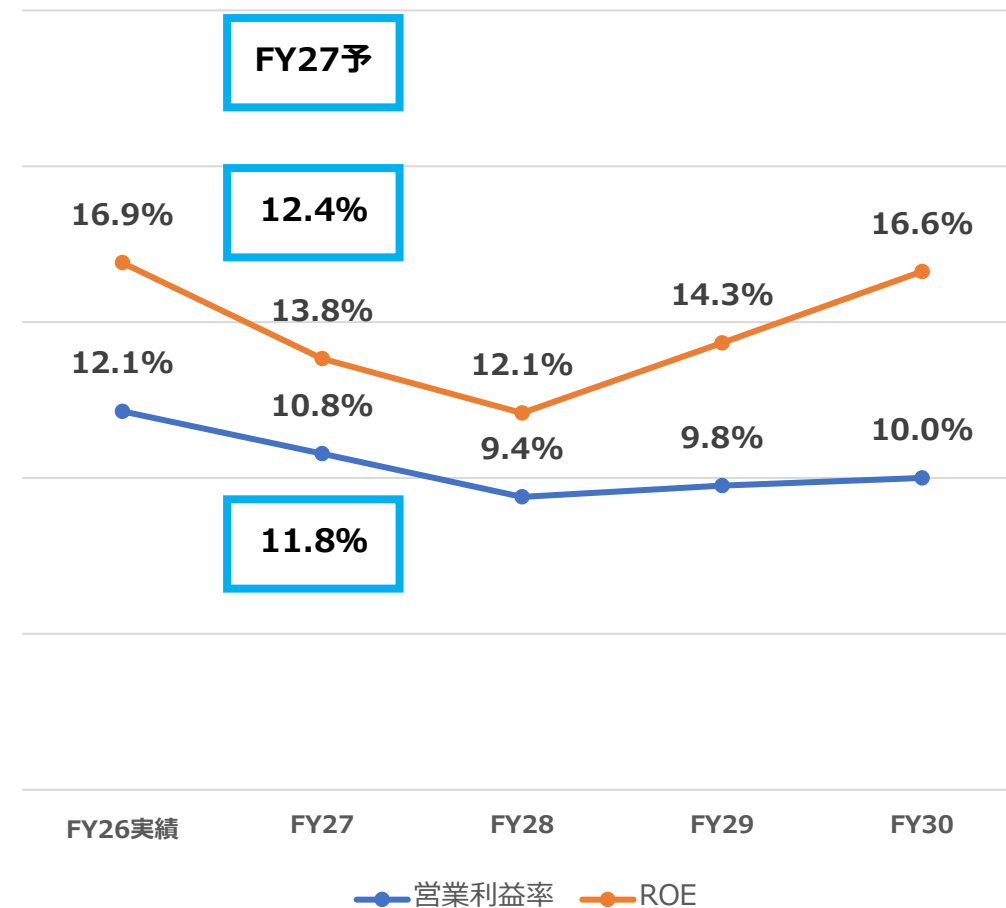
会計期間	FY25実績	FY26実績	FY27計画	FY27予	FY28計画	FY29計画	FY30計画
調整後売上高 (百万円)	4,373	6,057	7,700	8,277	9,900	12,300	15,000
調整後営業利益 (百万円)	290	734	830	977	930	1,200	1,500

中期経営計画 数値計画

事業セグメント別売上計画（オリジナル）



財務KPI



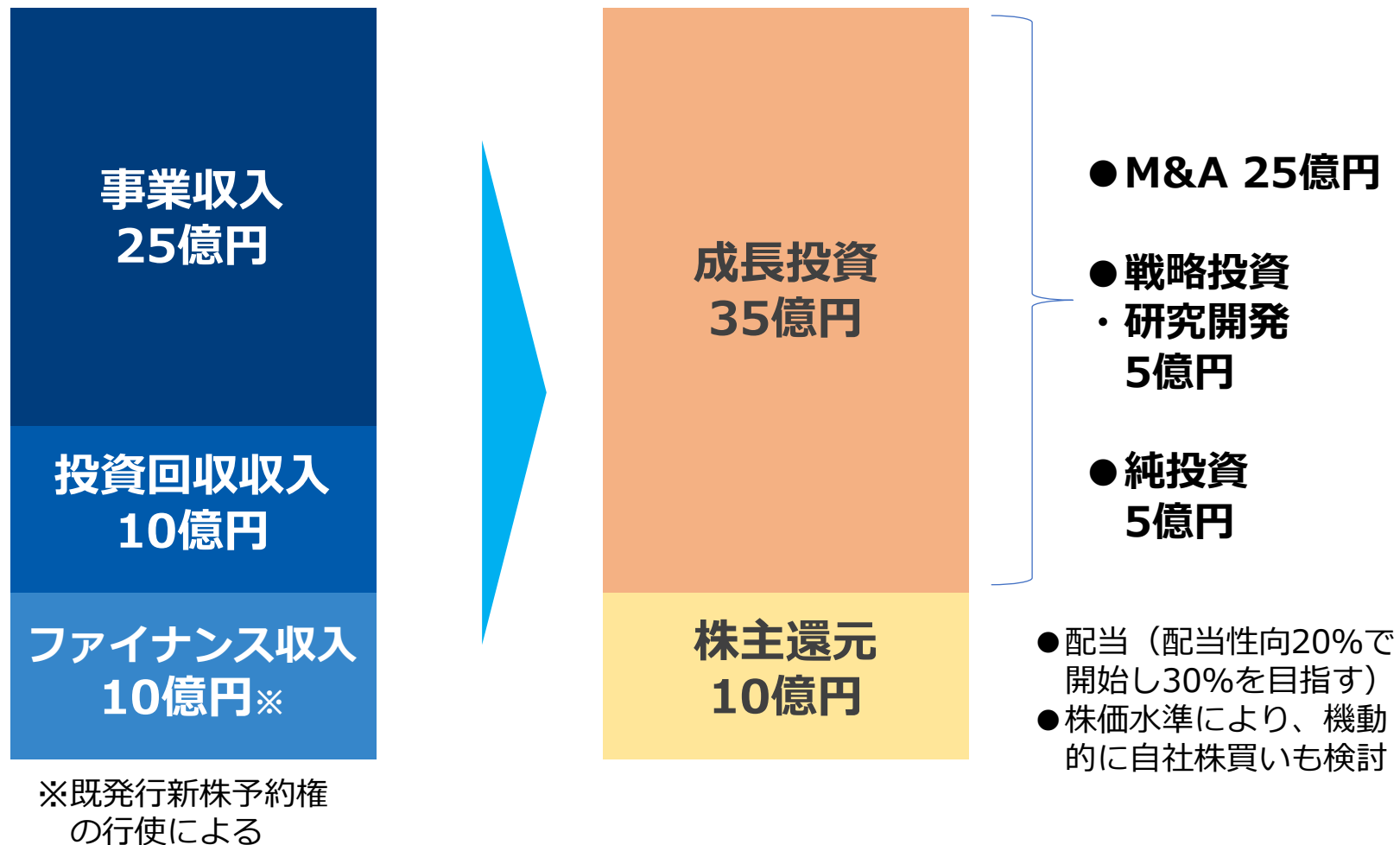
既発行新株予約権130万株は（当期FY27）中に全額行使を想定し算出

キャッシュ アロケーション

中期経営計画期間合計

持続的な企業価値の向上と
安定した株主還元の実現

キャッシュアロケーション方針



株主還元方針

株主の皆様への還元強化

株主還元は経営の重要事項

株主還元の基本方針



当期、配当性向26%での**配当開始、配当性向30%を目指す**

2026年3月期より配当開始、安定した株主還元の第一歩



累進配当による安定した増配

業績向上に応じた段階的な配当金額の増加を計画



株主優待制度の継続

クオカードによる株主優待を今後も継続実施



機動的な**自己株式**の取得

株価や市場環境を考慮した柔軟な自社株買いの実施

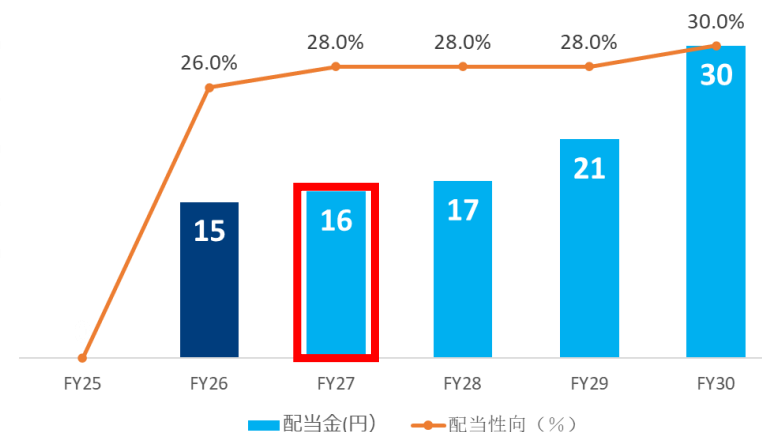


中期経営計画**KPIと連動**した
役員株式報酬を導入

従業員に対しては、子会社含む従業員持株会
(インセンティブ+15%) への加入促進

株主還元総額累計は、自社株買いを含め**10億円**規模を想定

1株当たり配当金（円）と配当性向（%）



ITサービス事業：M&A実績



2021年 3月 ネットワーク・通信に強みを持つIT人材会社



2022年 11月 採用コンサルティング



2024年 2月 独自教育プログラム有するIT人材会社



2024年 9月 独自採用ノウハウ有するIT人材会社



2024年 10月 自動化・省力化運営のIT人材会社



2026年 2月 人材紹介（新卒/中途）+RPOノウハウ



2026年 3月 AX・FDEコンサルティング



2026年 5月 モバイル通信・固定回線ネットワーク、ITソリューション

M&A候補パイプラインとの交渉継続中

投資事業：投資実績 デジタルグリッド2025年4月IPO

一部のイグジット開始。次期中計では、毎年安定的に売却を推進予定。
今後もDXを主要テーマとした投資グロースで、更なるアップサイドを追求



2019年 9月 電力及び環境価値取引プラットフォーム運営



2021年 3月 「PlayMining」運営



2023年 12月 サイバーセキュリティコンサルティング



2024年 3月 AI審査Fintech



2024年 4月 韓国軍導入NDRベンダー



2024年 7月 Cloud型越境ECサービス



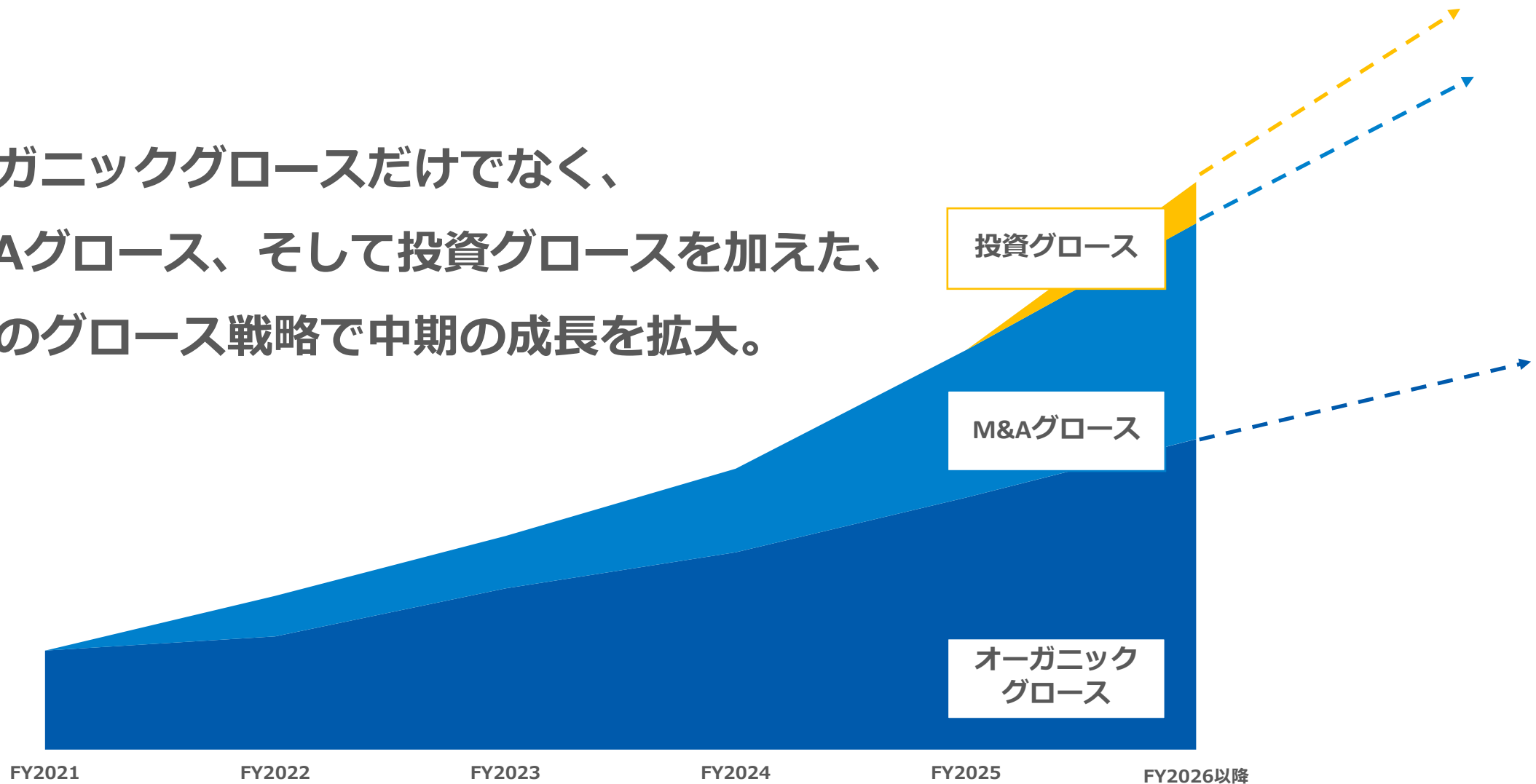
2025年 4月 東証グロース上場



投資有価証券含み益約 **9 億円**
継続的な安定利益計上に貢献

当社の成長戦略

オーガニックグロースだけでなく、
M&Aグロース、そして投資グロースを加えた、
3つのグロース戦略で中期の成長を拡大。



1

2027年3月期1Q決算概要、並びにトピックス
2027年3月期通期業績予想

2

成長戦略及び中期5カ年経営計画

3

APPENDIX: 当社事業概要並びに業績推移

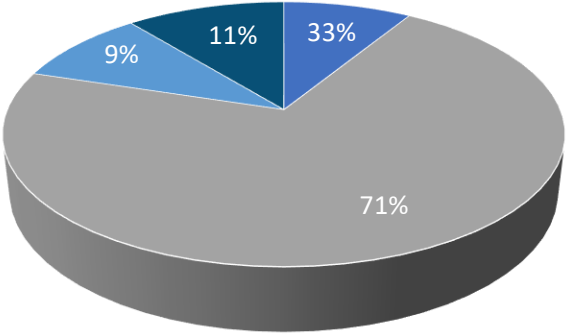
会社概要

商号	株式会社フーバーブレイン（東証STD:3927）Fuva Brain Limited		
設立	2001年5月8日		
事業内容	サイバーセキュリティソリューションの提供, 働き方改革・テレワーク環境構築 IT人材サービス, 投資事業		
本社所在地	東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート22F		
資本金	796百万円（株主数 4,023名）発行株式数5,604,200株（自己株式259,807株）（2026年3月31日現在）		
決算期	3月31日		
従業員数	251名（外、臨時雇用20名）（2026年3月31日現在）		
役員	代表取締役社長 輿水 英行 専務取締役 板橋 啓成 社外取締役 酒井 学雄 社外監査役（常勤） 日景 智久 取締役 錦織 劉一 社外取締役 上村 卓也 監査役（非常勤） 香取 正康 社外監査役（非常勤） 金子 望美		
グループ企業	10社（2026年3月31日現在）		



代表取締役社長 輿水 英行
1967年3月14日生

2026/3末株主構成(%)
株主数：4,023名



- 国内一般法人
- 個人
- 金融機関
- 外国法人等

1989年4月 西洋環境開発入社
1993年10月 アーサーアンダーセン会計事務所入所
1997年11月 カーギルジャパン入社
2008年12月 フォンテス代表取締役（現任）
2012年5月 いずみキャピタル代表取締役（現任）
2014年5月 パルマ社外監査役（現任）
2018年6月 当社取締役副社長
2018年10月 当社代表取締役社長（現任）

Mission

デジタルテクノロジーで、
社会に安心を、企業に成長を、人々に幸せな働き方を。

Vision

安心・安全で、一人ひとりが笑顔で働けるデジタルプラットフォームを構築する。
デジタル社会への変革を加速する人材を確保、育成し、
創造性を生かせる環境を提供する。

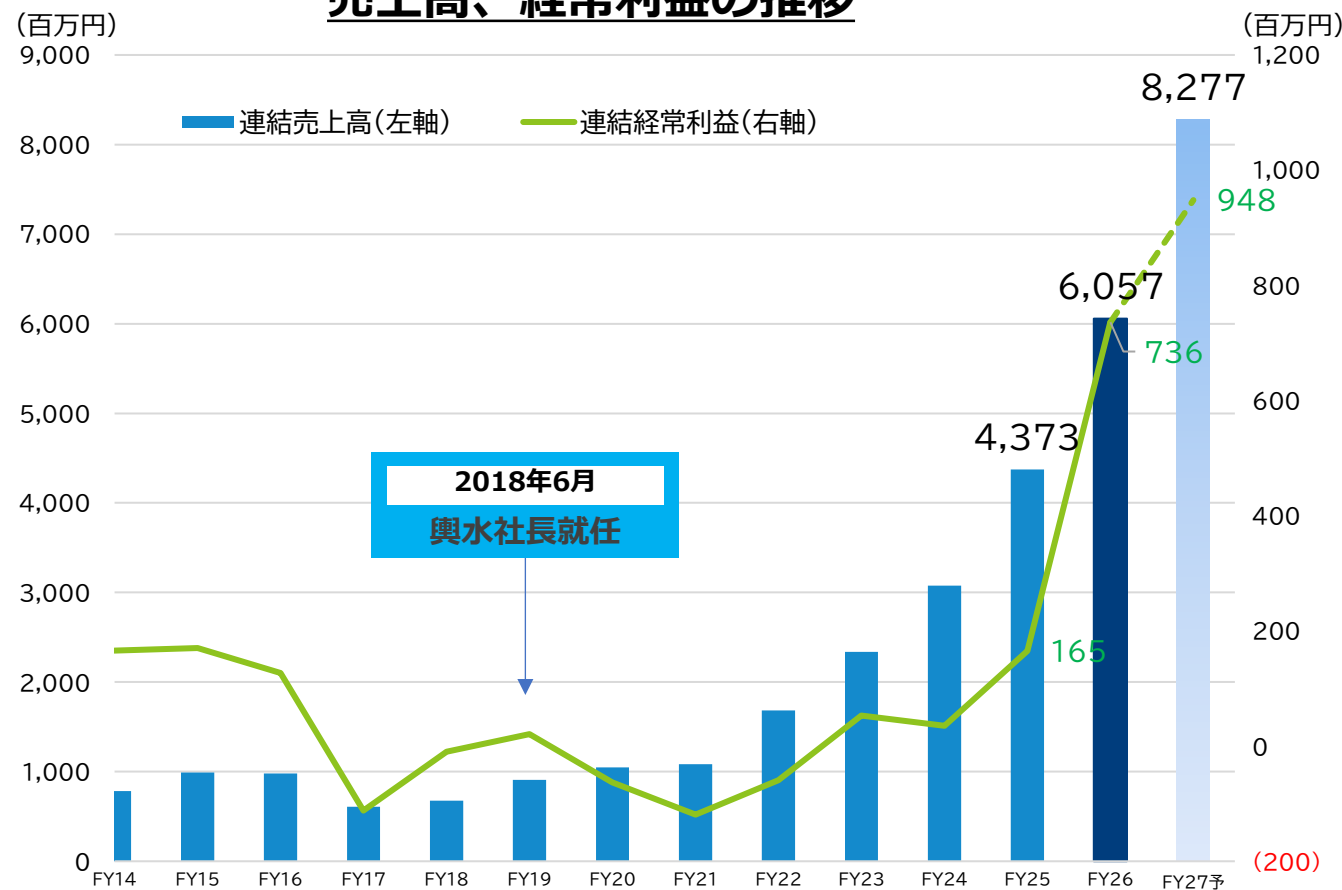


2030年に向けて、日本発の
「AIガーディアン企業」を目指す

フーバーブレインの過去からの沿革と業績推移

- 2018/6月：興水社長就任
⇒ リスクをとって新規領域に挑む **チャレンジング文化を醸成**
既存セキュリティ事業に加えIT人材サービスと投資事業開始
セキュリティ製品では「Eye“247” Work Smart Cloud」販売開始
- 2020/4月：イスラエルのCatoとディストリビューター契約
⇒ **世界初のSASEプラットフォーム**
- 2021/4月：人材サービス企業のM&A本格化
⇒ **2021：GHインテグレーションを子会社化**
2022：アトトップを子会社化
2024：CONVICTION、Asemble、イアールを子会社化
2026：Youth Planet、ProofX、フィールドテック社を子会社化
- 2023/7月：投資事業のCVC子会社設立
⇒ **フーバー・インベストメント設立**
- 2025/11月：中期経営計画発表（2026/3期～2030/期）
- 2026/2月：東証スタンダード市場へ市場変更
⇒ **日本発のAIガーディアンを推進中**

売上高、経常利益の推移



*26/3期は調整後売上高、調整後経常利益（有価証券売却益385百万円含む）

事業領域

- ITツール事業のオーガニック成長とITサービスのM&A成長、投資事業の成長で継続的な企業価値拡大

セグメント領域		
ITツール事業	ITサービス事業	投資事業
フーバーブレイン、フーバー・加テクノロジーズ ● セキュリティ製品（ハード・ソフト） NBB(Network Blackbox) ● セキュリティ & ネットワークaaS製品 Cato SASE Cloud ● 働き方改革製品（SaaS型）	フーバーブレイン、GHインテグレーション、CONVICTION、Asemble、イアール、ProofX、アド・トップ、Youth Planet、フィールドテック ● 保守・役務提供 ● 受託開発、SES ● 採用支援、人材紹介・派遣 ● モバイル通信・固定回線ネットワーク	フーバー・インベストメント ● 投資事業

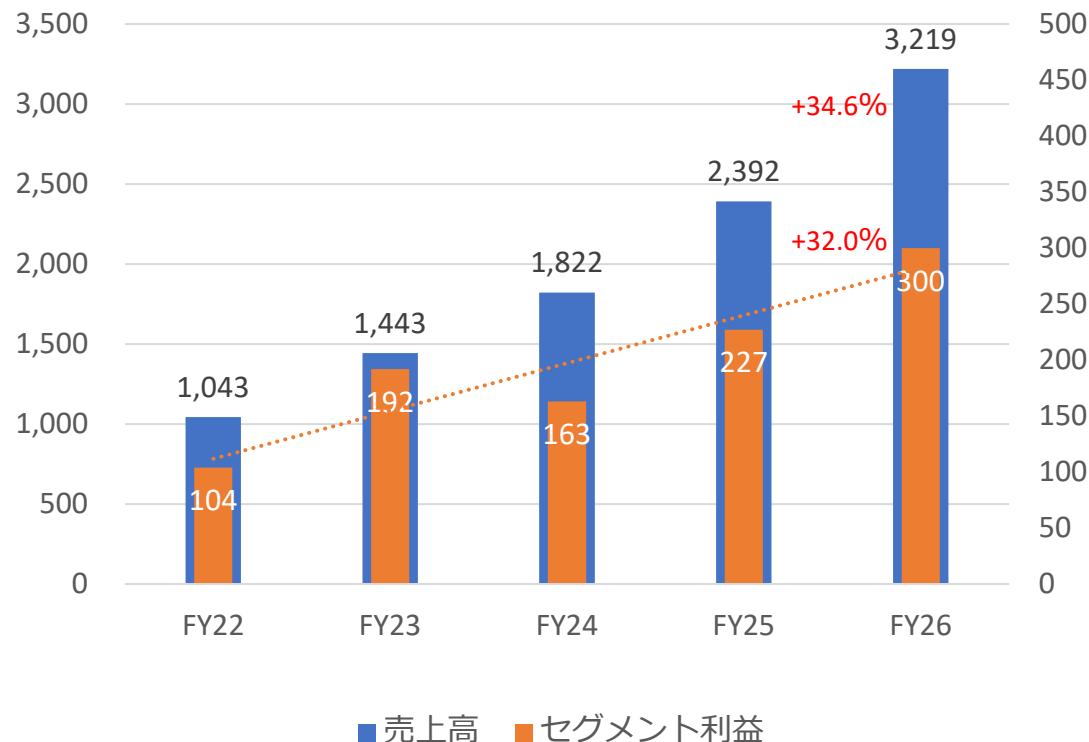


2025年4月 東証GRTにIPO

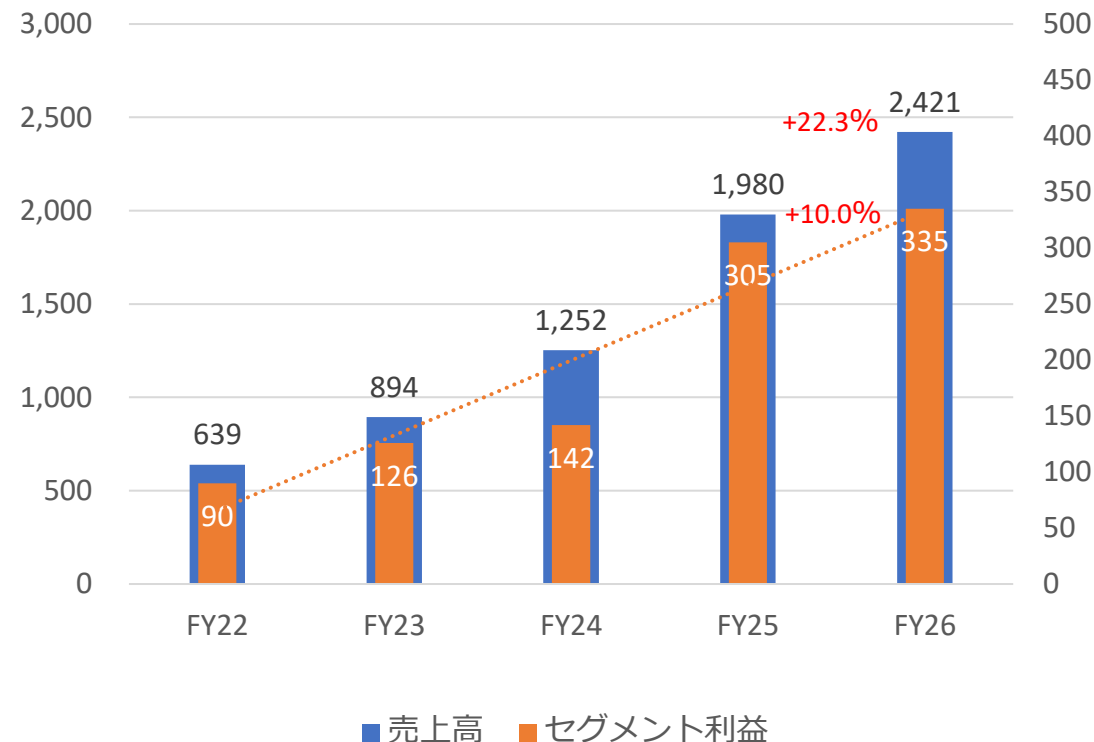
2026年3月期セグメント利益（調整後）（ITツール事業・ITサービス事業）

- 当期実績：ITツール事業 セグメント売上高3,219百万円 利益300百万円（利益率9.3%）
ITサービス事業 セグメント売上高2,421百万円 利益335百万円（利益率13.9%）

ITツール事業



ITサービス事業



事業セグメント・取扱い製品別の売上推移

- ITツール事業（セキュリティ製品、セキュリティ＆ネットワークaaS製品、働き方改革製品（SaaS型））
- ITサービス事業（IT人材関連サービス、保守・役務サービス）：2021年以降4社をM&Aで子会社化

(百万円)

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

FY21

FY22

FY23

FY24

FY25

FY26

■ セキュリティ製品 ■ セキュリティ＆ネットワークaaS製品 ■ 働き方改革製品（SaaS型） ■ ITサービス ■ 投資事業

6,057 (調整後)

Fuva Investment

GHI

The reliable team
株式会社アド・トックス

CONVICTION

Asem6re

Eye 24/7
Work Smart

働き方改革製品
Eye 24/7
Work Smart

セキュリティ＆ネットワークaaS製品

CATO
NETWORKS

セキュリティ製品
新商材
NETWORK
BLACKBOX

セキュリティ製品
Eye 24/7
Safety Zone

1,083

1,682

2,338

3,075

4,373

229
19

639
49

894
59
290

1,252
80
740

1,980
106
1,249

2,421
127
1,908

832

959

1,093

1,002

1,036

1,184

415

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

106

127

- 本資料は、当社グループの業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社グループの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料及び有価証券報告書の「リスク情報」にて、当社グループの実績に影響を与えうる事項の詳細な記載をしておりますが、現時点において認識している事項であり、今後の当社業績に影響を与えうる要素は当該「リスク情報」に掲載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。
- 本資料、データの無断転載はご遠慮ください。

